

特別公開講演 (ハイブリッド開催)

6/30 17:00-18:30
(開場 16:45)

参加費
無料

椎名美智先生 (法政大学)

タイムマシン
歴史語用論から見る「させていただく」



「させていただく」は大いに使われているにもかかわらず、批判されることの多いフレーズです。確認できた初出例は1871年ですが、よく使われるようになったのは120年後の1990年代です。それから30年たった現在の「させていただく」の使用実態と、過去から現在までの用法の変化を捉えようとした歴史語用論研究について、プロセスを含めてお話しします。

『「させていただく」の語用論』(椎名2021)は、英語学で学んだ歴史語用論の方法論を日本語学に応用した研究で、3年前の博論を元にしたものです。歴史語用論研究に興味を持っていただきたい、これから学位論文を書く若い研究者の方達のお役に立ちたいとの思いから、結論だけでなく方法論についてもお話しします。

参加方法

右のQRコードにアクセスし、必要事項をご記入下さい。事前申込締切は**6月27日23:59**です。



参加申し込みフォーム

○オンラインでご参加の方

6/29正午までにZoom情報が送信されます。

○会場にお越しの方

大阪大学全学共通教育機構講義B棟218室(共218)までお越し下さい。右のQRコードに豊中キャンパス構内図がありますので、ご参考にして下さい。



会場案内

*15:10-16:40までは、研究発表と総会がありますが、参加できるのは学会員のみです。

大阪大学言語文化学会

第60回大会 大阪大学人文学研究科共催

2022年6月30日(木) 15:10-18:40

会場:大阪大学 豊中キャンパス 言語文化研究棟(豊中市待兼山町1-8)

学会HP:<http://www.lang.osaka-u.ac.jp/gakkai-committee/>